

事務事業名	真岡市特別支援教育研究会運営交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成3年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費				
事業概要	特別支援教育の推進を目的に小・中学校の特別支援学級設置校合同宿泊学習の活動支援を行う。交付金額82,800円市内特別支援学級設置校22校に、児童生徒数に応じて補助している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 研究会より交付申請書（事業計画書）を提出させ、活動支援のための交付金を交付する。中学校の合同宿泊実施は、研究会で協議の末、中止となり、小学校は合同遠足となった。 2年度計画 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	交付金額	千円	97	97	97	82	82	
イ	合同宿泊学習会	回	1	1	1	0	0	
ウ								
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市特別支援教育研究会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	宿泊学習に参加した児童生徒数	人	165	168	161	0	0	
イ								
ウ								
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 合同宿泊学習により、特別支援教育を推進する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	合同宿泊学習で意欲的に活動できた子どもの数	人	165	168	161	0	0	
イ								
ウ								
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 基本的な生活態度を身に付け、将来自立して社会生活を営める子どもの育成	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア	※あまりを守り、友達と協力して活動できた子どもの割合	%	100	100	100	100	100	
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	97	97	97	11	0	
	事業費計(A)	千円	97	97	97	11	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	101	101	101	15	4	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	基本的な生活習慣を身に付けさせるため、合同宿泊研修を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	障がい児教育から特別支援教育への推進体制の整備が進められている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	